

様式1 管理運営状況評価書

【対象年度:平成25年度】 (②福祉施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	11	施設名	掛川市大須賀児童館	担当課名	こども希望課
区分		内容・説明			
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市児童館条例			
	(2)施設設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。			
	(3)施設が有する設備、機能の概要	集会室(27.04㎡)、遊戯室(71.86㎡)、図書室(26.00㎡)、事務室、便所			
	(4)施設建設年度	昭和62年度			
	(5)耐震性能の有無	有			
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)	修繕工事等(随時)			
	(7)指定管理者名	社会福祉法人掛川市社会福祉協議会			
	(8)指定期間	平成23年 4月 1日 から 平成28年 3月31日 まで			
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営			
	(10)自主事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(11)指定事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
(12)事業報告書提出の有無	☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし				
(13)利用者満足度調査等実施の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 25 年度)				

区分			H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数		10,300	10,037	9,517		
	内訳 (施設・設備ごと)	児童館	10,300	10,037	9,517		
	(2)稼働率(利用率)						↓ 備考欄に算定式を記入してください ↓
	(施設・設備ごと)		A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
			A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
			A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				

2 利用状況	(施設・設備ごと)		A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分		H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考		
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		856	960	955			
	(3)運営日数		245	245	245			
	(4)運営人員	①正規職員	2.0	2.0	1.0		※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	0.0	0.0	1.0			

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
	①人件費	7,842,107	8,648,773	7,993,908	8,638,000	
	②印刷費	0	0			
	③通信費	87,360	91,197	88,567	92,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	67,214	66,054	72,364	90,000	
	⑤借上料	37,296	24,864	84,000	149,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	53,720	53,320	86,350	74,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	727,088	747,031	761,646	824,000	
	計	8,814,785	9,631,239	9,086,835	9,867,000	
	対前年度増減率		9.3	△ 5.7	8.6	
区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	74,589	71,704	87,008	177,000	
	コピー機チャージ料	74,589	71,704	87,008	90,000	
	電気保守点検				64,000	
	消防設備保守点検				23,000	
	②修繕費	108,040	95,550	124,677	100,000	
	③光熱水費			13,608	915,000	
	④燃料費	59,257	58,487	59,247	60,000	
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	137,982	182,037	122,200	120,000	
	計	379,868	407,778	406,740	1,372,000	
	対前年度増減率		7.3	△ 0.3	237.3	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		9,194,653	10,039,017	9,493,575	11,239,000	

(4)合計のうち運営コストの割合	95.9	95.9	95.7	87.8	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	0	0	0		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合					

Ⅲ 収支差額の状況 **注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	9,194,653	10,039,017	9,493,575	
収支差額 a)－b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a)－b)	0	0	0	
c) 指定事業・その他事業の収入				
d) 指定事業・その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	2	施設運営上、特に問題点は見られない。 自由来館者への居場所、子育て支援拠点施設としての運営、また乳幼児事業5事業年延48回、小学生事業5事業年延べ62回など数多くの事業を開催しており、移動児童館、児童館まつり等では地域住民を巻き込んだ企画運営をし地域との連携を図り、地域の施設としての役割を果たしている。 今後も地域との連携を密にし、地域の子育て支援拠点として地域に根付いた活動を継続すること。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 利用者数の増加

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	前年度より50%以上増加している。	1	平成25年度10,500人、平成24年度10,057人、平成23年度9,517人と利用者は横ばいである。 平成25年度については、約4ヶ月間、保健センターの取り壊し工事とそれに伴う玄関の改修工事が行われたため、来館しにくい状況にあり、来館者が減少している。 今まで以上にニーズの把握に努め、より多くの市民に広報するとともに、地域を巻き込みながら事業を実施し、必要性が感じられる運営をすること。 平成26年度については、10,000人の来館を目標とすること。
2	前年度より増加している。		
1	前年度並みである。		
0	前年度より大幅に減少している(原因を追及する)。		

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	2	事業内容の工夫、節電などにより、支出額が昨年度よりも抑制され、館の管理運営に努力がみられる。引き続き経費節減に努力すること。
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	毎月1回来館者を含めての避難訓練を継続して実施すること。 今後も常に安全性に気配りしながら運営をしていくこと。 避難訓練や不審者対策を支所と連携しながら実施していくこと。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	児童館の企画運営に関しては指定管理者がすべてを担っている。 行政として、児童全般の子育て支援を担う児童館との連携は今後の子育て支援事業の一環として重要であると認識している。 育児不安等の子育て相談の窓口となり、母親たちに子育てのコツやアドバイスをできるよう指導の充実に努めていくこと。 また、地域の子育てサロン・サークルなど関係団体との連携も図り、市内全体の子育て力が高められるように努力すること。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいいため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	社会福祉協議会は、児童館開設当初から管理運営をしている指定管理者であるため、児童館の目的である子どもへの健全な遊びを通じて、健康増進や情操を豊かにするノウハウを備えている。 今後も、発達状況に合わせた企画・運営をしていくこと。 また、地域との連携も長年の積み重ねによるところが大きく、さらなる連携を期待する。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

11

／18

V その他自由意見

--